にこにこ

ボーイスカウト
浜松第22団
広報誌　vol.22

平成23年　6月26日　　編集:浜松第22団　広報委員会

団レクリェーション開催

平成23年　4月16日(土)～17日(日)
浜松市かわな野外活動センター

４月より新しく顧問を引き受けてくださる、浜松市市議会議員の高林修先生
（最後列：中央）

団レクリエーションの評価と今後のあり方について

団委員長　稲垣　紘一

本年度の団レクリエーションも３年間同じ浜松市かわな野外活動センターをお借りして、１泊２日の日程で行いました。

この団レクの目的は育成会員の親睦や自分の子供が所属する以外の隊活動を観られることです。もう一つスカウトが隊を超えてのグループ活動でリーダーシップやフォロアシップも学ぶことです。その目的達成のために実行委員会が昨年の晩秋に編成されましたが、実行委員長であったＡ副団委員長が急に体調をくずされてお亡くなりになったため、２ヶ月以上のブランクができてしまいました。急遽私が臨時の実行委員長になりましたが、準備時間の無いままに本番を迎えました。

その中で今までの土曜日の午後と夜のプログラムを見直し、スカウトの交流を図りながら同一材料（竹）で各隊ごとの取り組みをしました。これは私の予想に反し好評で来年度以降もこの形で良いと思いました。

しかしスカウトも保護者も宿泊者は昨年を下回りました。これは運動会や部活の影響もあると思います。また活動場所がかわなでマンネリになっている可能性があります。でも、子供達の宿泊体験は、隊ごとの結束をスカウトばかりでなくリーダーや保護者にももたらしています。今後も現在の団レクの１泊２日の形態を続けていけたらと思っています。

しかし来年度から日本連盟の登録料が値上げされます（1人あたり指導者は実質¥1000・スカウトは¥700、隊と団の登録料で¥16000）ので、団の運営が財政的にかなり厳しくなります。その中でどのような団レクのあり方にするか、本年度の新体制ができる９月頃から各隊の代表を加えて実行委員会を構成して、検討していきたいと考えています。１泊で実施するかとか個人の費用負担などのことを皆様のお考えを隊のリーダーや団委員にお話し頂けたらありがたいです。